



3班 出席者15名
野村富也会員

- ・一方的に卓話の話を聞く事も良いが、人間双方向に話をする例会プログラムを増やしてもいいのではないかと。先輩後輩を交えたこのような機会が今は少ないと思います。
- ・年次総会について、報告だけで意見交換の場になっていません。意見が無ければ無いで構わないので昔のように意見交換の場とすればいいのではないのでしょうか。

- ・クラブで委員長に70歳以上の会員を選んだり、経験ある人達を1～2人選任するなど検討してみたらどうか。理事、役員についても経験ある長老を一人ぐらい選任するなどを考えた方が良いのではないかと。若い人も大事ですが、中には会長経験者とかの起用を役員会でも考えてほしい。
- ・前はこうだったという前例を踏襲していく事が大事だと思う。ただ世の中の流れと同じに前例がなぜこうだったのかという事を考えずに安易に実行してしまうと物事が間違っているのではないかと。思う。
- ・ロータリーというのは修行ではないが、教養を与えて頂ける場だと思っている。
- ・先輩方というのはロータリーの事を大事に一生懸命に考えられていて、一声をかけて頂いたことは非常に嬉しかった。
- ・今の新会員の気持ちもよくわかるので、先輩といわれる会員も若い会員に対してただ「飛び込んでこい。飛び込んでこい」というだけではなく、もっとやさしく気を遣うことが必要だと思うのです。
- ・「地域活性化」は、各都市でもやっているが、それでも中々いいアイデアが出てこない。それなのに一つのロータリークラブが地域活性化のためにやっても100%完璧だという事をやることは無理だと思う。もう少しテーマのレベルを下げて実行可能なものにした方が動きやすいと思う。地に着いた中で少しでも地域活性化の一助になるような活動をクラブとして実施していくべきだと思う。
- ・先輩からいわれた事は「継続すなわち長く続けてはいけない。まず、援助する前に公的機関から援助がもらえないかどうか働きかける。そして援助してもらった事ができなかったらロータリーで援助する。そしてロータリーが援助して中々良い事であると認知され、他からの援助、応援の呼び水となればロータリーは援助をやめればよい。こういう事案が成功事業だ」と。しかし、図書館への援助のような良い事は継続事業として続けていっても良いのです。



3班 出席者



6班 出席者



4班 出席者



6班 出席者 17名
植田芳史会員

【入会の若い会員の発言】

「やさしく」してくれている。
自分の体験：こわい&話しかけにくい→自分から飛び込むことにより受け入れられる。

【最近の地区の状況】

いろいろな意見あり。

【長老の意見を紹介】

「なれどロータリー・されどロータリー」
(not「たかがロータリー・されどロータリー」)
ロータリーは素晴らしいな。「なれど」たいした事がないな。「されど」やっぱりロータリーだな。ロータリーって。つまらんなー。「なれど」そこそこいいやないか。「されど」やっぱりロータリーって、たいしたことないわ。このように正反対になるが、どっちに転んでも大した違いはないわ。田辺クラブの力を信頼している。いざとなった時の力はすごい。結局、その活躍の場を如何につくるか。ロータリーは、その場を提供するのが使命だ。



4班 出席者10名
玉井洋司会員

田辺ロータリークラブの長所、短所について

【長所】

- ・当クラブは厳格である。本部に対しても忠実であり、また勉強熱心である。
 - ・当クラブは例会の曜日、場所、時間を変えない。他のクラブから来られる方にもわかりやすく立派な伝統である。守って行きたい。
 - ・当クラブは厳格ではあるが、若い者の意見も十分尊重してくれる。
 - ・先輩が多い中、よくしていただき感謝している。
 - ・他のクラブと比較し、よい意味で地味である。
- 【短所または今後の課題】
- ・予定を調整できる立場の者が多いなか、例会に出席するという意識が低いのではないかと。
 - ・人選、役割分担に偏りがあるように感じる。
 - ・平均年齢が高くなっており運営が難しくなっている。やる気のある新入会員を入れるべき。
 - ・人事面で上手にローテーションする必要があると感じる。例えば、理事を3年やったら当面理事にならない等クラブ全体で役割を担う必要があると感じている。

社会奉仕関係について

- ・現状、あまり地域活動はしていない。何かするために例えば「市」「町」にお伺いをするのはどうかと思う。やりたいことがあればやるべきである。
- ・ロータリーとライオンズとの違いは、「社会奉仕重視がライオンズクラブ」「職業奉仕重視がロータリークラブ」ということから、社会奉仕をするにしても、誰がやったのか分からないように地味すべきだと考える。近年、ランオンズ化しているがそれでいいのか疑問。するにしてもやり方を考える必要がある。やはり地味にやることと思う。

